

香菜通信

【発行】

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
東北中国帰国者支援・交流センター
〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町3-7-4
電話：022-263-0948/022-223-1152
URL：http://www.miyagi-sfk.net/china

郷土料理「芋煮」を囲んで(山形県) 10月2日(水)

～馬見ヶ崎河川敷にて、山形・福島・宮城3県の帰国者の方々を対象に、東北南ブロック研修会を開催しました～

日頃お世話になっている相談員の方々に、感謝の言葉を述べた山形県佐藤さん。



歓談♪



なべ鍋6個、80人分を調理中☆



「同じ山形でも、内陸部は醤油、沿岸部は味噌で味付けをします」



芋煮の歴史



太極拳



「お元気で！また、お会いしましょう！」



伝統芸能に触れて(秋田県) 11月5日(火)

～たざわこ芸術村にて、青森・岩手・秋田3県の帰国者の方々を対象に、東北北ブロック研修会を開催しました～



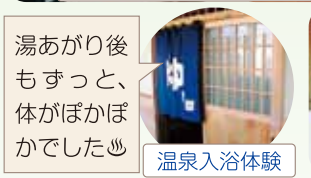
北東北の民族芸能について



「歌や踊りには、人を元気にさせる力があります」と小田島所長。



劇団わらび座 研究生の皆さん



湯あがり後もずっと、体がほかほかでした♡

温泉入浴体験



東北の民謡をご披露いただきました。



ドンパン節に合わせて体操



清家先生の動きをよ～く見て。徐々に速くなるテンポに苦戦しながらも、皆さん、いい笑顔です！



歓談♪



情報交換



ねぶた祭りを体感(青森県) 9月9日(月)

～「ねぶたの家ワ・ラッセ」にて、青森県在住の帰国者の方々を対象とした移動日本語交流会を開催しました～



金魚や蟹の絵柄のうちわを色塗り。皆さんとても熱心に取り組んでおられました。



友人同士や、支援者さんとの会話を楽しみながら



躍動感溢れるねぶたの前で



完成した色とりどりの「うちわ」を手に



ハネトの体験



太鼓の体験

「幼なじみと昔話でできました」「来年も楽しみ！」「(遠方から)参加ができるのは、市や町の職員、支援者の皆さんのおかげです」と帰国者の方。

就労コーナー 就労研修会 10月30日(水)

“帰国者として今だから言えること”

～山形県帰国者2世小林百合子さんに、ご自身の体験をお話いただきました～

県の支援・相談員として勤務し、22年目を迎える小林さんですが、帰国当初は言葉の壁で、職安でも仕事を紹介して貰えずに、悩み、焦った時期がありました。販売職に憧れ、洋品店に飛び込んで、「お客様と交流をしながら日本語を覚えたい」と店長に直接想いを伝えたところ、「あなたの勇気に感動した」と採用が決まったといいます。その後も熱心に日本語の勉強を続け、少しでも帰国者の役に立ちたいと現在の職に就かれました。「何も心配することはない。県庁に小林がいるから大丈夫！」と帰国者の方々から大きな信頼を寄せられている小林さん。大変なご苦労をされてきたご両親や帰国者の皆さんの笑顔が見られるよう、ご自身も日々笑顔で奮闘していらっしゃいます。

研修会では、小林さんの体験に自らの生い立ちを重ね合わせて、涙を拭く方もおられ、「我々1世をご自分の両親のように思い、接してあげることが嬉しい」「仕事を通して社会に貢献している姿に感動した」といった感想が聞かれました。



パソコン講師紹介

センター開所当初からご活躍いただいた伊東講師がご退職され、後任に渡邊講師をお迎え致しました。



渡邊彰先生

この10月から、帰国者の皆様と共に文書作成と計算だけでなく、PCの持つ可能性と魅力について楽しく探って行きたいと思っております。

どうぞ宜しくお願い致します。

中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウムのご案内

入場無料

日時：平成26年2月8日(土) 13:00～17:00
会場：太白区文化センター「楽楽楽ホール」
仙台市太白区長町5丁目3-2
主催：厚生労働省

12～2月の予定

12月13日(金) 就労研修会
2月8日(土)～9日(日) 東北圏域日本語交流・研修会
1月24日(金) 職場見学 キリンビール仙台工場(宮城県)

編集後記：“13.11”から“11.3”の歓喜へ
印象的な見出しが、ネット上で目を引きました。東北楽天ゴールデンイーグルス優勝に、涙した方も多かったのではないのでしょうか。諦めない熱いプレーとチームの結束力、そしてそれらを支えた“東北を元気に”との一念は、イーグルスファン、野球ファンのみならず多くの人を惹きつけ、感動を与えてくれました。11月3日、この日の感動を心に刻み、東北から元気を発信できれば、そんな想いになりました。(石黒)